

2017 年 9 月 11 日 ~ 2026 年 3 月 31 日の間に 当科においてグリオーマの摘出手術を受けられた方 及びご家族の方へ

「グリオーマにおける化学療法感受性の遺伝子指標の検索とそれに基づくテーラーメイド治療法の開発」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院脳神経外科 部長 菱川朋人
研究分担者 川崎医科大学附属病院脳神経外科 医長 平井聡

1. 研究の概要

起腫瘍の染色体上の欠損の有無の検査を含む遺伝子解析を実施し、化学療法の選択を検討する予定です。さらにそれ以外のグリオーマに関しても臨床的、病理学的、分子生物学的および遺伝学的解析を行い、診断、治療の向上に貢献する新しい診断方法と治療法を開発することを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017 年 9 月 11 日 ~ 2026 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院および共同研究機関でグリオーマの手術を実施され、本研究への試料提供に同意された方を研究対象とします。

2) 研究期間

2017 年 9 月 11 日 ~ 2026 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において手術が実施され、臨床上必要な検査に使用した残余のグリオーマ組織の一部をご提供いただき、腫瘍組織の遺伝子解析を実施して、患者さんの臨床情報との比較を行い、抗がん剤に対する反応性との関連性を検証します。また、腫瘍組織から培養細胞を樹立して、細胞の特性の解析を行い、新しい治療薬・治療法の開発を行います。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：基本情報（年齢、生年月、性別、グリオーマ発生部位）、検体採取手術時の情報、治療内容、その後の経過、放射線診断結果（CT・MRI 画像、PET 画像等）、血液検査結果、病理診断結果

試料：血液、腫瘍組織

5) 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する試料・情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

独立行政法人国立病院機構・大阪医療センター・臨床研究センター

6) 試料・情報の保存及び二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学脳神経外科学1実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 脳神経外科

氏名：菱川 朋人

電話：086-462-1111 内線 44469（平日：8時30分～17時00分）

E-mail：thishi@med.kawasaki-m.ac.jp

< 研究組織 >

1) 共同研究組織の名称

関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク

Kansai Molecular Diagnosis Network for CNS Tumors

2) 研究代表者

金村 米博（大阪医療センター・臨床研究センター・部長）

3) 院内共同研究者

尾崎 友彦（大阪医療センター・脳神経外科・医師）

木谷 知樹（大阪医療センター・脳神経外科・医師）

正札 智子（大阪医療センター・臨床研究センター・室長）

眞能 正幸（大阪医療センター・臨床検査診断部・部長）

4) 院外共同研究者と共同研究機関

伊東 恭子(京都府立医科大学大学院医学研究科・分子病態病理学・教授)

荻 寛志(京都府立医科大学大学院医学研究科・分子病態病理学・客員講師)

(株式会社 SCREEN ホールディングス・第一技術開発室 開発二課・副参事注1)

森脇 三造(京都府立医科大学大学院医学研究科・分子病態病理学・客員講師)

(株式会社 SCREEN ホールディングス・第一技術開発室 開発二課・副参事注1)

注1:京都府立医科大学大学院医学研究科・分子病態病理学との共同研究として参加する。株式会社 SCREEN ホールディングスへは提供されたヒト由来試料、臨床情報等のデータの持ち出しは実施されない。

山中 龍也(京都府立医科大学医学部 医学研究科・腫瘍分子標的治療学講座/保健看護学研究科・臨床健康科学・医学講座・教授)

児玉 良典(神戸大学大学院医学研究科・病理ネットワーク学部門・教授)

廣瀬 隆則(神戸大学大学院医学研究科・医学部地域連携病理学・特命教授)

(兵庫県立がんセンター病理診断科・部長)

市村 幸一(独立行政法人国立がん研究センター・脳腫瘍連携研究分野・分野長)

角田 達彦(東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 医科学数理研究室・教授)

(東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム応用医学研究部門 医科学数理分野・教授)

(国立研究開発法人 理化学研究所 生命医科学研究センター 医科学数理研究チーム・チームリーダー)

宮 冬樹(東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム応用医学研究部門 医科学数理分野・講師)

(東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 医科学数理研究室・非常勤講師)

(国立研究開発法人 理化学研究所 生命医科学研究センター 医科学数理研究チーム・客員研究員)

鎌谷 高志(東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 医科学数理研究室・特任助教)

(東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム応用医学研究部門 医科学数理分野・非常勤講師)

末水 洋志(公益財団法人実験動物中央研究所・実験動物研究部・部長)

中村 雅登(公益財団法人実験動物中央研究所・病理病態部・部長)

(東海大学医学部・基盤診療学系・再生医療科学・教授)

奥崎 大介(大阪大学免疫学フロンティア研究センター・ヒト免疫学・特任准教授)

高倉 伸幸(大阪大学微生物病研究所・情報伝達分野・教授)

岡野 栄之(慶応義塾大学医学部・生理学教室・教授)

岡田 洋平(愛知医科大学医学部 内科学講座(神経内科)・准教授(特任))

川真田 伸(公益財団法人先端医療振興財団・細胞療法研究開発センター・センター長)

稲垣 直之(奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科・神経システム生物学・教授)

柴田 亮行(東京女子医科大学 病理学第一講座・主任教授)

瀧 琢有(独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院・副院長・脳神経外科・部長)

森 鑑二(独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院・脳神経外科・第二脳神経外科部長)

萩原 靖(地方独立行政法人りんくう総合医療センター・脳神経外科・部長)

吉村 紳一(兵庫医科大学・脳神経外科・主任教授)

阪本 大輔(兵庫医科大学・脳神経外科・助教)

廣田 誠一(兵庫医科大学・病理学(病理診断部門)/病院病理部・主任教授)

中込 奈美(兵庫医科大学・病理学(病理診断部門)/病院病理部・講師)

沖田 典子(地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター・脳神経外科・副部長)

宇田 武弘(大阪市立大学大学院医学研究科・脳神経外科・講師)

都築 貴（八尾市立病院・脳神経外科・部長）
深井 順也（和歌山県立医科大学医学部・脳神経外科・講師）
中尾 直之（和歌山県立医科大学医学部・脳神経外科・教授）
成田 善孝（国立がん研究センター中央病院・脳脊髄腫瘍科・科長）
高橋 雅道（国立がん研究センター中央病院・脳脊髄腫瘍科・医員）
橋本 直哉（京都府立医科大学医学部・脳神経外科・教授）
香川 尚己（大阪大学大学院医学系研究科・脳神経外科学・講師）
木下 学（大阪大学大学院医学系研究科・脳神経外科学・講師）
木嶋 教行（大阪大学大学院医学系研究科・脳神経外科学・特任助教）
福岡 良平（大阪大学大学院医学系研究科・脳神経外科学・特任研究員）
柳澤 琢史（大阪大学高等共創研究院・教授）
（大阪大学大学院医学系研究科・脳神経外科）
梅原 徹（大阪大学大学院医学系研究科・脳神経外科・招聘教員）
尾路 祐介（大阪大学大学院医学系研究科・生体病態情報科学講座 免疫造血制御学講座・教授）
中尾 和民（河内総合病院・脳神経外科・副院長）
中島 義和（地方独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター・脳神経外科・部長）
石橋 謙一（大阪市立総合医療センター・脳神経外科・医長）
山崎 夏維（大阪市立総合医療センター・小児血液腫瘍科・医長）
西野 鏡雄（公立学校共済組合近畿中央病院・脳神経外科・部長）
有田 憲生（公立学校共済組合近畿中央病院・名誉院長）
前野 和重（社会医療法人愛仁会高槻病院・脳神経外科・主任部長）
原田 敦子（社会医療法人愛仁会高槻病院・小児脳神経外科・主任部長）
有田 英之（社会医療法人愛仁会高槻病院・脳神経外科・医長）
戸田 弘紀（公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院・脳神経外科・主任部長）
西田 南海子（公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院・脳神経外科・副部長）
吉本 修也（公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院・脳神経外科・副部長）
川端 信司（大阪医科大学・脳神経外科・脳血管内治療科・准教授）
宮武 伸一（大阪医科大学附属病院・がんセンター先端医療開発部門・特務教授）
浅井 昭雄（関西医科大学医学部・脳神経外科学講座・主任教授）
埜中 正博（関西医科大学医学部・脳神経外科学講座・診療教授）
奥田 武司（近畿大学医学部・脳神経外科・講師）
藤田 貢（近畿大学医学部・細菌学教室・准教授）
露口 尚弘（近畿大学医学部附属病院・脳卒中センター・准教授）
篠山 隆司（神戸大学医学部附属病院・脳神経外科・教授）
田中 一寛（神戸大学大学院医学研究科・脳神経外科・助教）
泉本 修一（近畿大学医学部奈良病院・脳神経外科・准教授）
渡邊 啓（近畿大学医学部奈良病院・脳神経外科・診療講師）
馬淵 英一郎（宝塚市立病院・脳神経外科・主任部長）
西尾 雅実（市立豊中病院・脳神経外科・部長）
夏目 敦至（名古屋大学大学院医学系研究科・脳神経外科・准教授）
寺川 雄三（釧路孝仁会記念病院・脳神経外科）
森内 秀祐（森内脳神経クリニック・院長）
若山 暁（公益財団法人唐澤記念会 大阪脳神経外科病院・院長）
山本 直樹（社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会・大阪府済生会中津病院・脳神経外科・副部長）

岩本 文徳 (JCHO 大阪病院・脳神経外科・主任部長)
 竹本 理 (大阪府立母子保健総合医療センター・脳神経外科・主任部長)
 高木 康志 (徳島大学病院・脳神経外科・教授)
 林 宣秀 (和歌山ろうさい病院・脳神経外科・副部長)
 國枝 武治 (愛媛大学医学部・脳神経外科・教授)
 井上 明宏 (愛媛大学医学部・脳神経外科・助教)
 山下 大介 (愛媛大学医学部・脳神経外科・助教)
 末廣 諭 (愛媛大学医学部・脳神経外科・助教)
 大上 史朗 (愛媛県立中央病院・脳神経外科・部長、脳卒中センター・副センター長)
 吉村 政樹 (八尾徳洲会総合病院・脳神経外科・医長)
 松本 圭吾 (JCHO 神戸中央病院・院長)
 古野 優一 (JCHO 神戸中央病院・脳神経外科・医長)
 篠崎 隆志 (国立研究開発法人情報通信研究機構・脳情報通信融合研究室・研究員)
 山下 耕助 (大阪赤十字病院・脳神経外科・部長)
 菱川 朋人 (川崎医科大学・脳神経外科・教授)
 斉藤 克也 (足利赤十字病院・脳神経外科・医員)
 稲永 親憲 (総合病院聖隷浜松病院・脳腫瘍科・部長)
 小川 隆弘 (京都第二赤十字病院・脳神経外科・医長)
 岡 英輝 (済生会滋賀県病院・脳神経外科・部長)
 中川 享 (済生会吹田病院・脳神経外科・部長)
 小川 竜介 (きつこう会ヘルスケアシステム多根総合病院・脳神経外科・部長)
 木村 聡志 (京都第一赤十字病院・脳神経外科・副部長)
 山田 與徳 (独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター・脳卒中センター・部長)
 宮本 淳一 (済生会京都府病院・脳神経外科・部長)
 浜本 隆二 (国立研究開発法人国立がん研究センター研究所・がん分子修飾制御学分野・分野長)
 三宅 基隆 (国立研究開発法人国立がん研究センター・中央病院放射線診断科・医員)
 瀬々 潤 (国立研究開発法人産業技術総合研究所・人工知能研究センター 機械学習研究チーム・研究チーム長 兼 創造基盤研究部門・研究部門付)
 河口 理紗 (国立研究開発法人産業技術総合研究所・人工知能研究センター 機械学習研究チーム・協力研究員)
 宮本 享 (京都大学医学研究科・脳神経外科・教授)
 荒川 芳輝 (京都大学医学研究科・脳神経外科・講師)
 近藤 夏子 (京都大学複合原子力科学研究所・粒子線腫瘍学研究センター・助教)
 米澤 泰司 (一般財団法人大阪府警察協会大阪警察病院・脳神経外科・部長)
 榊 孝之 (兵庫県立西宮病院・脳神経外科・部長)
 熊谷 哲也 (若草第一病院・脳神経外科・部長)
 中山 良平 (立命館大学・理工学部・准教授)
 高野 昌平 (姫路赤十字病院・脳神経外科・部長)
 山内 滋 (市立島田市民病院・脳神経外科・主任部長)
 山田 正信 (医療法人徳洲会野崎徳洲会病院・脳神経センター 脳神経外科・副院長)
 松田 真秀 (筑波大学 医学医療系 脳神経外科・講師)
 石川 栄一 (筑波大学 医学医療系 脳神経外科・准教授)
 藤本 康倫 (独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院・脳神経外科・部長)
 赤井 卓也 (富山大学付属病院・脳神経外科・講師)
 宮尾 泰慶 (地方独立行政法人市立吹田市民病院・脳神経外科・部長)

藤田 浩二（公立那賀病院・脳神経外科・副院長）
 西尾 晋作（新京都南病院・脳神経外科・医長）
 園田 順彦（山形大学医学部・脳神経外科・教授）
 大重 英行（社会医療法人弘道会 萱島生野病院・脳神経外科・部長）
 井上 靖夫（独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・脳神経センター・部長）
 金本 幸秀（馬場記念病院・脳神経外科・部長）
 波多野 武人（一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院・脳神経外科・主任部長）
 深見 忠輝（滋賀医科大学・脳神経外科・講師）
 川内 大輔（国立精神・神経医療研究センター・病態生化学部・細胞生化学研究室・室長）
 岡 直樹（朝日大学病院・脳神経外科・講師）
 中島 伸幸（東京医科大学病院・脳神経外科・講師）
 秋元 治朗（東京医科大学病院・脳神経外科・教授）
 河野 道宏（東京医科大学病院・脳神経外科・主任教授）
 深見 真二郎（東京医科大学病院・脳神経外科・講師）
 一柁 倫生（東京医科大学病院・脳神経外科・助教）
 永井 健太（東京医科大学病院・脳神経外科・助教）
 矢野 喜寛（阪和記念病院・脳神経外科・部長）
 西井 翔（市立福知山市民病院・脳神経外科・医師）
 伊達 勲（岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・脳神経外科・教授）
 藤井 謙太郎（岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・脳神経外科・助教）
 石田 穰治（岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・脳神経外科・助教）
 大谷 理浩（岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・脳神経外科・医員）
 坂井 信幸（神戸市立医療センター中央市民病院・副院長兼脳神経外科部長）
 福井 伸行（神戸市立医療センター中央市民病院・脳神経外科・医師）
 今村 博敏（神戸市立医療センター中央市民病院・医長）
 小柳 正臣（神戸市立医療センター中央市民病院・医長）
 後藤 正憲（神戸市立医療センター中央市民病院・医長）
 福光 龍（神戸市立医療センター中央市民病院・医長）
 春原 匡（神戸市立医療センター中央市民病院 医長）
 Michael D Taylor (Division of Neurosurgery, The Arthur and Sonia Labatt Brain Tumour Research Centre, and Developmental & Stem Cell Biology Program, Hospital for Sick Children, Toronto, ON, Canada, Department of Laboratory Medicine and Pathobiology, University of Toronto, トロント, カナダ)
 Stefan M. Pfister (Division of Pediatric Neurooncology, German Cancer Research Center (DKFZ) Heidelberg, German Cancer Consortium (DKTK) Core Center Heidelberg, and Department of Pediatric Oncology, Hematology, & Immunology, Heidelberg University Hospital, ハイデルベルグ, ドイツ)
 Joanna J. Phillips (Brain Tumor Research Center, University of California, San Francisco, Neuropathology, Department of Pathology, University of California, San Francisco, and Department of Neurological Surgery, University of California, San Francisco, サンフランシスコ, アメリカ)
 Erwin G. Van Meir (Department of Neurosurgery, The University of Alabama at Birmingham, アラバマ, アメリカ)

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。